

業務システム化

る地域限定の完全自動運転の商用化を目指しており、バス会社や保険会社、機械式駐車場メーカーなど10社

同社は「まず、タイヤの保守に入手や手間を要する運送業者に提案したい。将来は車両の安全面で自動運転社会に貢献できれば」としている。(大島光貴)

案する。

同社は2017年5月、化工学プラントの反応塔で使われる部品「スクリーン・インターナル」を製造するナガオカ(大阪市)を買収。

同年10月、貝塚工場を姫路のナガオカ敷地内に移転し、手狭になっていた。

ナガオカの部品は高品質で、米国の石油化学プラント設計会社ハネウェルUOPの認証を受ける。新工場ではUOP向けの部品を加工し、中近東などに輸出する。



される圧力容器などの大型装置や部品を製造する。6月末から稼働させる。
敷地は約9900平方m、工場は平屋で1400

プラントメーカーのハマダ

化工機第2工場完成

今月末稼働

プラントメーカーのハマダ(姫路市)は、同市網干区の本社工場近隣に、化工機の二つ目の工場を完成させた。化学プラントで使わ

ー タンに奨励賞

ティング大賞

たチエック柄「神戸
上げる神戸ターラン

神戸ターランは六甲アイランドで紳士服のテーラーを営む石田原弘さん(63)が2014年に創作。海の青

ポートタワーや神戸大橋の観覧車はターラ

採用するなど、大企業による参考も目立ってきた。

(塩津あかね)

神戸らしさの演出に使う事例も増加。女子フットサルチームのアルコイリス神戸がユニホームに、神戸觀音局はクルーズ船の外国人客をもてなすスタッフ衣装を取り入れた。神戸ハーバー

UOPのブライアン・グローバー副社長も「工場新設で、技術力のある製品が増産できる」と期待する。

ハマダの18年5月期単体の売上高は146億円。プラント工事が70億円と売り上げの半分を占める。従業員は約300人。